## No. 22 第1学年 理科 学習プリント 【単元2】

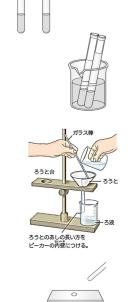
月日()

4章 水溶液 <2. 溶解度と再結晶>

めあて

## <実験方法> 再結晶 教稿P122~

- 70°C<らい湯を用意して、調整管を易こづけ、 でであります。
- 3. 2の試験管の水溶液を別の試験管に約2mlとって冷水で冷やす。
- 4. [溶質が現れたら] ろ過して固体をとり出し、固体のようすを観察する。 [溶質が現れなければ] スライドガラスの上に液体を1溶垂らし、水を蒸発させてようすを観察する。
- 5. 結果をまとめ、考察を行う。



/-	*
< -	<b>小田</b> :

〈結 果〉			
310			

> 結	めらわか	ること	_
	> 結	> 結果からわか	> 結果からわかること

## \*POINT

1. 一定の量の水ご溶ける物質の最大の量をその物質の溶解度という。

を20°Cまで分かすと、何gのが置かリウムが結晶として出てくるか。

- 2. 物質が溶解度まで溶けている水溶液を 箆印水溶液 という。
- 3. 規則正は形の個体を 結晶 といい、一度容かした物質を再び結晶として取り出すことを 再結晶 という。

[練習問題] 表 が 間 かい で しょう が 100 g の 水 に 溶ける 質量を表したものである。 図 6 はいろい な が 質の 溶解 食 曲線 で ある。 次 の 問 い に 答えな さい 。

(1) 20℃の水100gに塩ヒナトリウム40gを入れたとき、すべて溶けきるか。

(2) 40°Cの水100gにご開発カリウムを 溶けるだけ溶かして、ご開発カリウムの 飽取が溶液をつくった。この飽取が溶液 

解答欄 (1) 溶けきらない	(2) 63, 9-31, 6	A 32.3g
----------------	-----------------	---------

1年( )組( )番氏( )

No. 22 第1学年 理科 学習プリント 【単元2】		<考察> 結果からわかること	
4章 水溶板 <2. 溶解度と再結晶> <b>めあて</b>			
〈実験方法〉 再結晶 教科書P122~			
		*POINT	
	カラス棒 ろうとの表しの長い方を ピーカーの内壁につける。	[練習問題] 表球弾劾リウムと塩化ナトリウム(食塩)が100gの水ご溶ける質量を表したもの 図6はいろいろな物質の溶解度曲線である。次の問いに答えなさい。	 である。
		(1) 20°Cの水100gに塩化ナトリウム 40gを入れたとき、すべて溶けきるか。 100gの水に溶ける質量 図 1220 水の温度 中静 食塩(塩化 カリウム (g) 100gの水に溶ける質量 180 (で) 「g」 の 13.3 35.6 水 160 水 160	ョウバン
(P +0)		40gを入りにこと、9个に合うともの。 0 13.3 35.6 水 160 水 160 水 160 水 160 水 140	1
<予 想>			ن ا
		溶けるだけ溶かして、硝酸カリウムの 60 109.2 37.1 80 168.8 38.0 節和水溶液をつくった。この節和水溶液	/ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
<結果> □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		を20°Cまで合わすと、何gの消酸カリウムが結晶として出てくるか。  (g) 20 20 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40	· 1 ) 60 度(℃)
		解答欄 (1) (2)	
		_1年( )組 ( )番 氏名(	